

子どもの支援利用計画 《学童期》

子どもの名前	M・Sくん	性別	男	相談支援事業者名	子どもの相談支援事業所 れいんぼう
保護者氏名	K・S様	本人との続柄	母親		
住所	〇〇県〇〇市〇〇町△△			計画作成担当者	所沢 伊之助
計画作成日	2015年3月〇日	モニタリング期間（開始/終期年月）	3か月後	保護者同意署名欄	K・S 

子ども及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）	お子さんと過ごす時間を大切にしながらも、お仕事はできるだけ休まずに頑張っていきたいと考えていらっしゃるようです。Mくんのことについては、今はあまり心配していないという話も聞かせていただきましたが、子育てに関しては悩みは多く、特にお兄ちゃんのことでの悩みは多いことや、お姉ちゃんとの時間がなかなか取れないことでの心配をされています。
総合的な支援の方針	毎朝、元気にお母さんと学校に通っているようです。朝は何かと忙しいでしょうが、Mくんにとっては、朝お姉ちゃんとお母さんと出かけることが、大切な一日のリズムになっており、「やる気」スイッチの入る素敵なひと時なのだろうと思いますので、ぜひ続けてみてください。日曜日については、勤務日になっているようですが、職場の理解もあるとのことですので、もうしばらくは今のペースで休みを取っていかれることは、Sさん自身のためにも良いことだと思います。土、日が休みの仕事に変わることも考えていらっしゃるようですが、各事業所もしっかりと応援していますので、もうしばらくこのままでいきましょう。また、多くの事業所を利用することで、何かと気疲れもされることでしょうか。何が何だかわからなくなった！ということがありましたら、お話を聞かせてください。
長期目標	視覚的にはかなりぼやけて見えているはずなのに、くっきり見えているかのように、すぐに相手が誰だかを見分け、近くにいる相手によって、抱きついたり、欲しいものを要求したり、苦手な人には近寄ろうともしないMくんです。また、いろいろな音や声には敏感ですね。Mくんが感じていること、理解できていること、判断できていること、決めていく力について、Mくんに関わっている皆さんが集まって話し合い、確認していく機会を何度か持ちたいものです。企画してみますので、Sさんからの呼びかけもよろしくお願ひします。
短期目標	昨年度までの学校の長期休みは、各事業所の工夫により何とか乗り越えてきましたが、開所日や受け入れ時間に変更されているところもありますので、今度の夏休みのことは、いろいろと考えていきましょう。仕事を続けながらも、どのくらいお子さんと向き合う時間を確保していくのが良いのか、一緒に作戦を練りましょうね。

優先順位	解決すべき課題（家族及び本人の成長・発達の課題）	支援目標	達成時期	支援の具体的な内容 種類・内容・量（頻度・時間）	課題解決のための 家族の役割・立場	評価 時期	その他留意事項
1	発達支援：Mくんの成長の様子、これからの支援目標などを各機関が共通理解していくこと	Mくんの感じていること、見えている世界、聴こえてくることについて、支援しているみなさんと話し合っていく機会を持ちましょう。	6ヶ月後	学校の特別支援コーディネーターの先生、Mくんの担任の先生、交流学級の担任の先生、放課後等デイサービス事業所「すらり」「どあどあ」「ミンク」のスタッフの方、以前Mくんが通っていた児童発達支援センターの言語療法士のHさん、視覚支援機器の開発も手掛けているパソコンソフト会社のNさん、そこで一緒に共同研究をしているH大学のY教授、あとはSさんが参加するMくんのための会を開きたいと思います。（遅くとも8月の初めまで）	学校の担任の先生とは、これまで通り定期的にお会いしていきたいと思いますので、Sさんからもよろしくお伝えください。	5ヶ月後	児童期の教育機関、福祉の支援機関が一堂に集まることは、なかなか難しいものです。それでも何とか皆さんが集まることのできる機会を持つために、まずは教育委員会、校長先生、事業所の代表者の方々に会い、お願ひをしていくことから始めていきます。
2	家族支援（就労支援）：これまで通り仕事を続けていくにあたって、必要な支援を受けていきたい。	平日の放課後や土、日曜日の日中の活動について、Mくんが時には、のんびりと、時には目を輝かせながら過ごせる場を、引き続いて保障していきましょう。	3ヶ月後	放課後等デイサービス事業所 ①児童デイサービス すらり 週3日 ②放課後等デイサービスセンター どあどあ 週2日 ③放課後等デイサービス ミンク 月2～3日	利用している事業所によって、またヘルパーさんによって、Mくんは違う姿を見せていると思います。これまでも事業所での様子はお聞きになっているようですが、事業所によって違うMくんの様子を一緒に知っていきましょう。	2ヶ月後	土曜日のお出かけはとても楽しみにしているようです。 (Kタウン、丸屋デパート、R体育館など) Mくんにとって、一対一の支援はとても大切です。行動範囲が広がりますし、要求行動が増えていくためにもとても有効だと思います。
3				◆すらり居宅介護支援センター必要に応じて土曜日の9:00～13:00及び日曜日の13:00～16:30 ☆〇〇市ホームヘルプセンター希望 木曜17時～と土曜日15時～ ▲げんこつ山ヘルパーステーション（行動援護） 主に日曜日の14時～		2ヶ月後	土曜のお出かけは、天気の良い日は近所の公園で過ごし、日曜日のお出かけは、プールに行っているようです。楽しんでいただけたね。室内でゆったりと過ごせる場所も考えてみますので、事業所の方とはまた情報交換しましょう。
4	家族支援：ご兄弟の方への今後の子育てについて	お兄ちゃんのこと、お姉ちゃんのことについても思い悩んでいることがたくさんありますね。まずは、誰かとじっくりと話しをして、Sさんの頭の中の整理をしてみませんか。	3ヶ月後	それぞれの学校の先生ともいろいろと相談をしてこられたことが、Sさん自身が親としての役割として、何が今できることなのか、お子さんの気持ちをどう受け止めていけばいいのかについて、ゆっくりと話し合ってみましょう。G発達支援センターの園長先生や通信制高校のYY学院のF先生と会ってみましょう。	それぞれの先生との連絡調整は、こちらで行いますので、月曜日の日など、時間を作って下さいね。	2ヶ月後	どちらの先生ともにSさんが会って話したいけど、忙しいですよ～とおっしゃっていた方です。お二人とも、いいですよ～！と言っていたいただいています。お楽しみに！
5							
6							

子どもの支援利用計画【週間計画表】 《学童期》

児童氏名	M・Sくん	保護者氏名	K・S様	相談支援事業者名	子どもの相談支援事業所 れいんぼう
住んでいる市町名	〇〇市〇〇町			計画作成担当者	所沢 伊之助

計画開始年月	平成 27年 4月
--------	-----------

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	起床							<p>毎朝、元気にお母さんと学校に通っているようです。朝は何かと忙しいでしょうが、Mくんにとっては、朝お姉ちゃんとお母さんと出かけることが、大切な一日のリズムになっており、「やる気」スイッチの入る素敵なひと時なのだろうと思いますので、ぜひ続けてみてくださいね。学校では、ベテランの素晴らしい先生に、Mくんをがっちり受け止めてもらいつつ、多くの交流にも参加しているようです。春の運動会では、Mくんへの拍手は大きかったですね。感動しました！放課後等デイでは、それぞれ過ごし方は違いますが、お散歩を楽しんだり、職員とダイナミックな運動遊びをしたり、おやつ作りに参加したりなど、それぞれがMくんの取り組めることを工夫しながら探しています。好きなこと、関心のあることを一つでも多く見つけてもらえるといいですね。</p>
8:00	学校	学校	学校	学校	学校	学校		
10:00	学校	学校	学校	学校	学校	学校		
12:00	学校	学校	学校	学校	学校	学校		
14:00	学校	学校	学校	学校	学校	学校		
16:00		① 放課後等デイサービス	移動支援◇	② 放課後等デイサービス	① 放課後等デイサービス	移動支援☆	③ 放課後等デイサービス 月2～3 移動支援▲	
18:00		① 放課後等デイサービス	移動支援◇	② 放課後等デイサービス	① 放課後等デイサービス	移動支援☆	移動支援▲	
20:00								
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
0:00								
2:00								
4:00								
週単位以外のサービス								
<p>★行動援護～母子家庭であり、母親の今後の就労状況を考えると、これまで支給されている30時間は継続した方が良くと思います。（本人の生活としては、移動支援のみでの対応でも良いのですが、移動支援だと時間的にもサービス内容としても制限がありますので、これまで通り行動援護とうまく組み合わせていくとよいと思います。）但し、学校の長期休暇中に関しては、さらに工夫が必要となりますので、6月以降しっかりと一緒に考えていきましょう。</p> <p>★ショートステイ～Mくんは、まだまだ小学生です。もしもの時のために早くから利用しておいた方がいいよという意見もあるようですが、離れて過ごす機会を作って休みたい！とお母さんが考えているわけではないですから、何もあわてる必要はありませんよ。緊急な場合は、必ず対応します。</p> <p>★日中一時支援～この事業を行っているところが減っています。現実的に近くで利用できる場所がありません。いい情報がありましたら、すぐに提供します。今は受給者証の必要はありません。</p>								

支援の実施によって実現する生活の全体像

毎日元気に学校に通いながら、毎日のように放課後等デイサービスなどを利用しており、Mくんにとっては、体力的にしんどいのではないかと思います。就学してから、体調を崩していないことは、すごいことだだと思います。おうちでの生活は、ゆったりと送れており、いい睡眠がとれているのでしょうか。Sさんにとって、お仕事を続けながらの子育ては、疲れることも多いことと思いますが、Mくんの笑顔に大いに励まされて、素敵な家庭になっていると思います。気になることは、むしろお兄ちゃんやおねえちゃんのことのようですね。ひとまずMくんの生活は、多くの人に支えられ（Mくんが支えているのです！）、わりといい線いっている！と考えて、時々時間を作って、お姉ちゃん、お兄ちゃんのことを話し合っていきましょうね。

子どもの現状（基本情報） 《学童期》

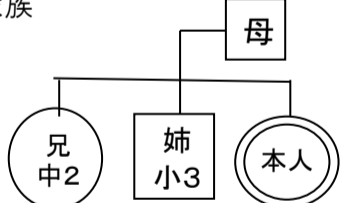
作成日	2015年3月0日	相談支援事業者名	子どもの相談支援事業所れいんぼう	計画作成担当者	所沢 伊之助
-----	-----------	----------	------------------	---------	--------

1. 子どもの育ち（支援経過・現状と課題等）

地元の小学二年生。特別支援学級（知的）に在籍。1：6健診で発達の遅れを指摘され、G児童発達支援センターを紹介される。母親は育休を取っていたが、2歳前に地域の公立保育所に通うことにし、児童発達支援センターには、週に一回、そのセンターの外來療育等指導事業として個別指導を受け、そのまま就学を迎える。保育所の周りの子どもたちには、M君からの手差しでの要求で、鉄棒やボール蹴りなどをやって見せたり、おぶって歩き回ったりしては大喜びするのを互いに楽しんできた様子。元々マイペースなところはあったものの、年長になった時は、人懐っこく、笑顔の多い毎日を送れるように成長してきた。就学してからも、予想以上に生活に慣れ、欠席のない日々。福祉サービスを毎日利用していく中で、母親の就労は継続できており、本人は体調を崩すことはなく、安定した毎日を送っている。地域の子どものM君のことを知ってもらい、互に関わる機会を持てるよう、地域の学校を選んだが、良好な結果が出ている。

子どもの名前	M・Sくん	生年月日	平成20年 6月△日	年齢	6歳10ヶ月
住所	〇〇県〇〇市〇〇町△△			電話番号	000-000-0000
				緊急連絡先： 上記の他にあれば記入	000-0000-0000
愛称（ご家族の方がお子さんを呼ぶときによく使う言い方）	Mくん	手帳の有無	療育手帳A	性別	男・女

<p>発達の状況（主に家族から聴取した情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●移動～手をつないで歩くようにしているが、学校内はさっさと一人で歩き、転倒することは不思議とない。階段もスムーズに昇降できるが、特に降りる時は、視力のこともあり、注意はしている。また勢いよく走りだすことはあり、他の児童とはよくぶつかっている。外の移動時には、ヘルパーとはしっかり手をつないでいる。乗り物は好きで、バスや電車など、大人しく外を眺めている。 ●大好きなことと場所～液晶タッチでの操作ができる。上手に動画を再生したり、停止したりする。画面に顔をくっつけるようにしている。踏切が好きで、連れて行くと帰れなくなる。ゲームセンターにあるわりと古い型の乗り物にあるハンドルで気に入ったものがあり、いつまでもぐるぐる回している。特にプールでの水遊びは大好きで、プールから上がる時は、ひと騒動になる。お祭りの太鼓や大音量の場所も大好きで、テンションが高くなり、声を出してよく笑っている。 ●食事の時は～スプーンですくって食べることもあるが、手づかみの方が多い。偏食は強く、インスタントの焼きそばFFと、のりたまのふりかけをかけた熱いご飯と、お味噌汁の汁と、だし巻き卵焼きが中心のメニュー。摂食量についても、少なめ。学校ではふりかけなしでもごはんパン、和食系のおかずは、野菜を除いて食べている様子。 ●排泄について～排尿：尿意はドアの前でピョンピョン跳んで示す。洋式トイレに座って用を足す。ズボン、パンツは声かけにより自分で脱ぐ。夜間はオムツ着用。大便是パンツを着用まま2、3日に一回失敗。今のところ、学校では失敗はない。 ●着脱～Tシャツ・トレーナーは、その気になれば脱ぐことはできる。靴も気が向くと一人で履いている。シャツは頭を通すと、後は腕を通していくことが時折ある。 ●意思の伝え方～やってもらいたいことがあると、拍手を主に二回打つ。ほしいものは大人の手を引いてその場に連れて行く。何か困った時は、信頼できる大人に抱きついてきたり、手を引いて示している。顔を覗きこんできたときには、何かの許可を求めていることもある。声が出る時は笑う時と、大声で泣く時くらい。 ●こちらから伝えていく時に気をつけること～絵カード等を使ってはきたが、すぐに投げ捨ててしまふばかり。今のところマッチングなどの課題も含め、場面に適応したことはない。しかし、携帯の画面で行き先の画像を示すことで伝わったことは何度かあり、注目しているところ。 ●整理整頓～カバンなど自分の持ち物をロッカーに入れることはできる。何も言われずにやっていることも少なくはない。 ●買い物～時間を見つけては、母親はMくんを買い物に連れて行っている。買い物にMくんはつき合うわけではないが、楽しそうに動き回るMくんを追いかけまわることが、お母さんも楽しいとのこと。 	<p>医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康・体調について ここ数年来、特に風邪ひくこともなく過ごせている。 その他：視力～正確な視力検査は、本人が嫌がるため実施できていない。医師の所見としては、両眼共に0.01ではないかとのこと。眼鏡を使用することもあるが、すぐに外してしまい、何度も壊している。ほとんどかけさせてはいない。 ●健康面で配慮すること～自分から水分の補給ができてきたが、体温調整については、暑い日でもあまり汗をかかないところもあり、帽子をかぶることも嫌うため、配慮は必要。 ●その他、留意してほしいこと～異食が目立つほどではないが、紙切れやビニール片などをいつの間にか、口にしていることはよくある。 ●かかりつけの医療機関 △△小児科クリニック、△市立病院眼科、△△耳鼻咽喉科医院 △△病院歯科（障害歯科） 服薬については、粉状のものについては、ジュースに混ぜても吐き出してしまふ。 〇〇障害者療育センターには、2歳の頃より二カ月に一度通い、PTの指導・訓練を受けている。
---	---

<p>生活歴 ※受診歴等含む</p> <p>〇〇市在住の時に1：6健診で発達の遅れを指摘され、G児童発達支援センターを紹介される。すぐにG児童発達支援センターのある〇〇市に転入。以後4年間外來療育を受けていた。この時から母子家庭として4人家族になる。H22年4月に〇〇市立W保育園に入所。H26.3月W保育園卒園。同4月〇〇小学校に入学。特別支援学級在籍。現在に至る。</p>	<p>家族構成</p> <p>4人家族</p> 
---	--

<p>子どもの発達の評価（今後の発達課題）</p> <p>一人遊びが多いながらも、人の大勢いるところは大好きで、皆でダンスをする時などその中でうれしそうな表情を示している。日常的に繰り返していることは、声かけで理解できることもある。動作で要求を示すことは増えてきている。視力としてはかなりぼやけたまま周りは見えている状態だが、転倒することはまずない。認知的にはマッチングができる前の段階で、発達に偏りを持っている状態であり、視力は弱いながらも視覚的な情報は入り易いところはある。</p>	<p>家族の主訴（意向・希望）</p> <p>子どもとはたくさん遊んであげたいが、仕事はできるだけ頑張っていきたい。 Mくんのはかわいくて仕方ない。かと言って、子育てに関しては悩みは多く、特にお兄ちゃんのことによく学校から呼び出しが多いため、そのことでの悩みは多い。姉の勉強も滞り気味で（特に宿題）、付き合っただけでないので、心配している。</p>
--	---

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援（福祉サービス等）	放課後等デイサービス	①児童デイサービス すらり ②放課後等デイサービスセンター どあどあ ③放課後等デイサービス ミンク	子どもの生活支援 母親の就労支援	①週3日 ②週2日 ③月2～3日	①火・水・金曜日 ②木・土曜日 ③日曜日
	移動支援または行動援護	◆すらり居宅介護支援センター ☆〇〇市ホームヘルプセンター希望 ▲げんこつ山ヘルプステーション（行動援護）		◆必要に応じて実施 ☆週二回 ▲月2～3回	放課後等デイの利用の前後、及び学校の休日時
その他の支援					

申請者の現状（基本情報） 【現在の生活】

利用者氏名	M・Sくん	所属	〇〇市立PP小学校	相談支援事業者名	子どもの相談支援事業所 れいんぼう
				計画作成担当者	所沢 伊之助

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	起床							<p>生活リズム～就寝は21時過ぎにお姉ちゃんとお母さんと三人で。夜中に起きることはなく、朝までぐっすり眠れるようになってきた。母親は早め起きて、家事をこなしているとのこと、ご苦労様です！お気に入りのタオルがあり、それを持たせないと寝つけないとのこと。ほつれも多いため、同じ柄のタオルを渡したところ、あまりに泣き続けるので諦めたとのこと！</p> <p>朝は、6時にはさっと起きてTVの前に行き、アニメ等のDVDを見せるよう要求。しばらくはテレビの前をうろろしている。登校は8時前で、母親と姉と三人で歩いて行く。以前は手を離せなかったが、今は呼び止めると立ち止まってくれるとのこと。校門からMくんの教室までは姉が送ってくれる。</p> <p>家の中は、あちこちに内鍵があり、また台所や二階への階段のところに柵がある。今のところ乗り越えることはない。一階のリビングで主に過ごし、Mくんの玩具はたくさん置いてある。（関心のない玩具はたくさんある。）兄が在宅の時は、パソコンで、You tubeをよく観ている。Mくんが観たいものをチョイスしてくれるとのこと。（でもお兄ちゃんが相手をしてくれることは少なくなっているようですね。ま、中学生ですからね～！）サザエさん、0655、アルプスの少女ハイジ、トムとジェリーがお気に入り。</p> <p>お母さんは日曜日にも仕事ですが、できるだけ月に2日くらいは休みを取って、その日はおじいちゃんの運転でドライブに行くことにしている。姉もついてくる。広々した公園にできるだけ連れて行っている様子。</p>
8:00	学校							
10:00	学校							
12:00	学校							
14:00	学校							
16:00	放課後等デイサービス①	放課後等デイサービス①	放課後等デイサービス①	放課後等デイサービス②	放課後等デイサービス①	放課後等デイサービス①	放課後等デイサービス③	
18:00	移動支援							
20:00	就寝							
22:00	就寝							
0:00	就寝							
2:00	就寝							
4:00	就寝							
週単位以外のサービス								
<p>日曜日のサービス利用は今のところは月に二、三回ペース。母親の仕事の都合に合わせて、単発で移動支援の利用を、火、水、木曜日に入ることもある。幼児期までは、社協のボランティアさんや、シルバー人材センターの一時預かりを利用していただいていたことが、時々Mくんが突進して抱きつくことがあり、就学までで利用できなくなった様子。</p>								